

医療関係者用
令和6年度

高齢者の 肺炎球菌感染症の 定期接種について

対象者

65歳の方が対象です。

※60歳から65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸器の機能に自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害やヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害がある方も対象となります。

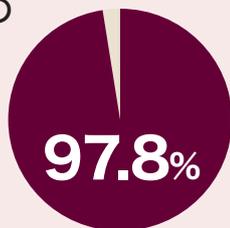
定期接種を受けられるのは、

1年間に限られます。

- これまでに、23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチンを1回以上接種した方は、定期接種での接種を受けることができません。
- 公費助成の有無やその内容は、お住まいの市区町村によって異なる場合があります。

なぜ65歳で
肺炎予防が大切なのでしょうか？

肺炎による死亡者の
97.8%が
65歳以上です。



なぜ肺炎球菌感染症を
予防することが必要なのでしょうか？

肺炎球菌感染症は
発症後に
**急激に症状が
進む**ことが
あります。



厚生労働省、人口動態統計(確定数)2022年より作図

厚生労働科学研究費補助金、新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業、重症型のレンサ球菌・肺炎球菌感染症に対するサーベイランスの構築と病因解析、その診断・治療に関する研究(H22-新興-一般-013)報告書

**肺炎球菌感染症の予防接種は、
すべての肺炎を防ぐものではありません。**

※再接種は定期接種での接種ができません。

対象者

前回のニューモバックス® NP接種から、 5年以上経過した方

下記のカードをお持ちの場合は、カードの色をご確認ください。

色	再接種の接種可否	色	再接種の接種可否
	本年度に再接種ができる可能性が あります		本年度の接種は控えてください (令和9年度以降に検討ください)
	本年度に再接種ができる可能性が あります		本年度の接種は控えてください (令和10年度以降に検討ください)
	本年度の接種は控えてください (令和7年度以降に検討ください)		本年度の接種は控えてください (令和11年度以降に検討ください)
	本年度の接種は控えてください (令和8年度以降に検討ください)		本年度の接種は控えてください (令和11年度以降に検討ください)

該当の方以外は、再接種はできません。

5年以内に2回目の接種をすると、注射部位が赤くなったり、腫れたりするなどの副反応が強く出たり、副反応が起こる人の割合が高くなる可能性があります^{1,2)}。

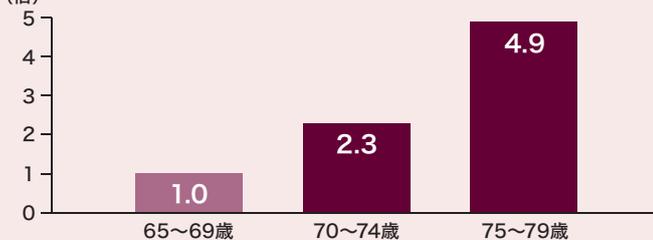
1)Borgono JM, et al. Proc Soc Exper Biol Med. 1978; 157(1): 148-154.
2)Musher DM, et al. J Infect Dis. 2010; 201(4): 516-524.

なぜ70歳代で、継続した肺炎予防が大切なのでしょうか？

肺炎は年齢が上がることに、死亡のリスクが高まります。

70~74歳が肺炎で死亡する割合は、65~69歳に比べて**2.3**倍高くなります。

●65~69歳の肺炎による死亡率を1とした場合の各年齢の比(倍)



厚生労働省、人口動態統計(確定数)2022年より作図

肺炎球菌感染症の予防接種は、 すべての肺炎を防ぐものではありません。